

平成28年6月16日

平成27年における山岳遭難の概況

警察庁生活安全局地域課

1 概要

(1) 全国の発生状況

平成27年中の山岳遭難は

○ 発生件数	2,508件	(前年対比+215件)
○ 遭難者	3,043人	(前年対比+249人)
うち死者・行方不明者	335人	(前年対比+24人)
負傷者	1,151人	(前年対比+110人)
無事救助	1,557人	(前年対比+115人)

であり、発生件数、遭難者、死者・行方不明者が、統計の残る昭和36年以降で最も高い数値となった。

過去10年間の山岳遭難発生状況をみると増加傾向にあり、平成18年と比較すると

○ 発生件数	+1,091件	(+77.0%)
○ 遭難者	+1,190人	(+64.2%)
○ 死者・行方不明者	+57人	(+20.5%)

となっている。

(2) 都道府県別の発生状況

山岳遭難の発生件数を都道府県別にみると、

○ 長野県	273件
○ 北海道	175件
○ 富山県	136件

の順であった。

2 山岳遭難の特徴と未然防止対策

(1) 目的別・態様別

全遭難者3,043人について、目的別にみると、登山（ハイキング、スキー登山、沢登り、岩登りを含む。）が75.0%と最も多く、次いで山菜・茸採りが12.8%を占めている。

また、態様別にみると、道迷いが39.5%と最も多く、次いで滑落が16.5%、転倒が15.3%を占めている。

(2) 年齢層別

40歳以上の遭難者が2,334人と全遭難者の76.7%を占めており、このうち、60歳以上が1,565人と全遭難者の51.4%を占めている。

また、40歳以上の死者・行方不明者が307人と全死者・行方不明者の91.6%を占めており、このうち60歳以上が234人と全死者・行方不明者の69.9%を占めている。

(3) 単独登山者の遭難状況

単独登山（目的が「山菜・茸採り」「観光」等の者も含む。）における死者・行方不明者は185人で、全単独遭難者の17.3%を占めており、複数（2人以上）登山における遭難者のうち死者・行方不明者が占める割合（7.6%）と比較すると約2.3倍となっている。

(4) 通信手段の使用状況

全発生件数2,508件の76.6%が遭難現場から通信手段（携帯電話、無線（アマチュア無線を含む。））を使用し、救助を要請している。

今後も、携帯電話による救助要請の増加が予想されるが、携帯電話は通話エリア内での万が一の通話手段として有効であるものの、多くの山岳では通話エリアが限られることやバッテリーの残量に注意が必要である。

(5) 山岳遭難の未然防止対策

山岳遭難の多くは、天候に関する不適切な判断や、不十分な装備で体力的に無理な計画を立てるなど、知識・経験・体力の不足等が原因で発生していることから、遭難を未然に防ぐため、登山に当たっては、以下のような点に留意が必要である。

○ 登山計画の作成、提出

気象条件、体力、体調、登山の経験等に見合った山を選択し、登山コース、日程、十分な装備、食料等に配慮して、余裕のある、安全な登山計画を立てる。

単独登山はできるだけ避け、信頼できるリーダーを中心とした複数人による登山に努める。

また、作成した登山計画書は、家庭や職場、登山口の登山届ポストなどに提出しておく。

○ 危険箇所の把握

計画を立てるとき、滑落等の危険箇所を事前によく調べる。

○ 的確な状況判断

視界不良・体調不良時等には、道迷い、滑落等のおそれがあることから、状況を的確に判断して早めに登山を中止するよう努める。

○ 道迷い防止

地図、コンパス等を有効に活用して、常に、自分の位置を確認するよう心掛ける。

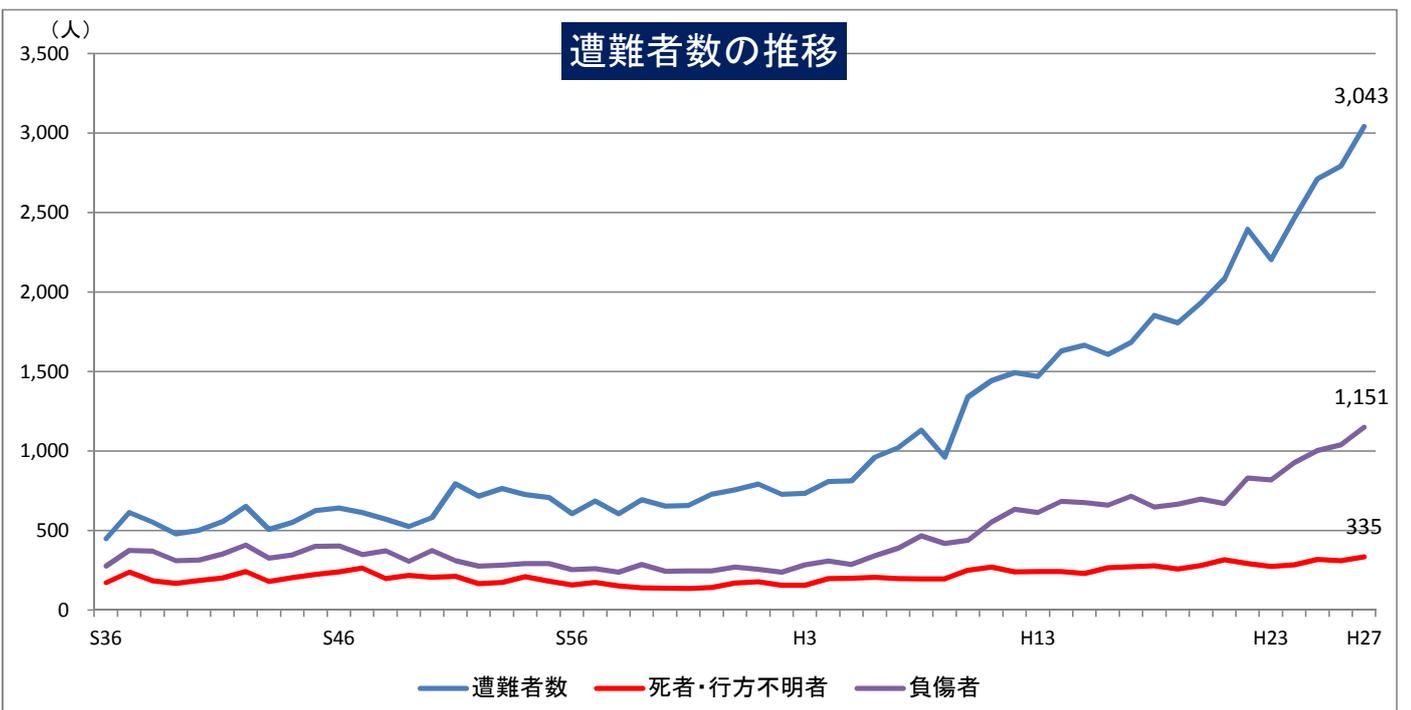
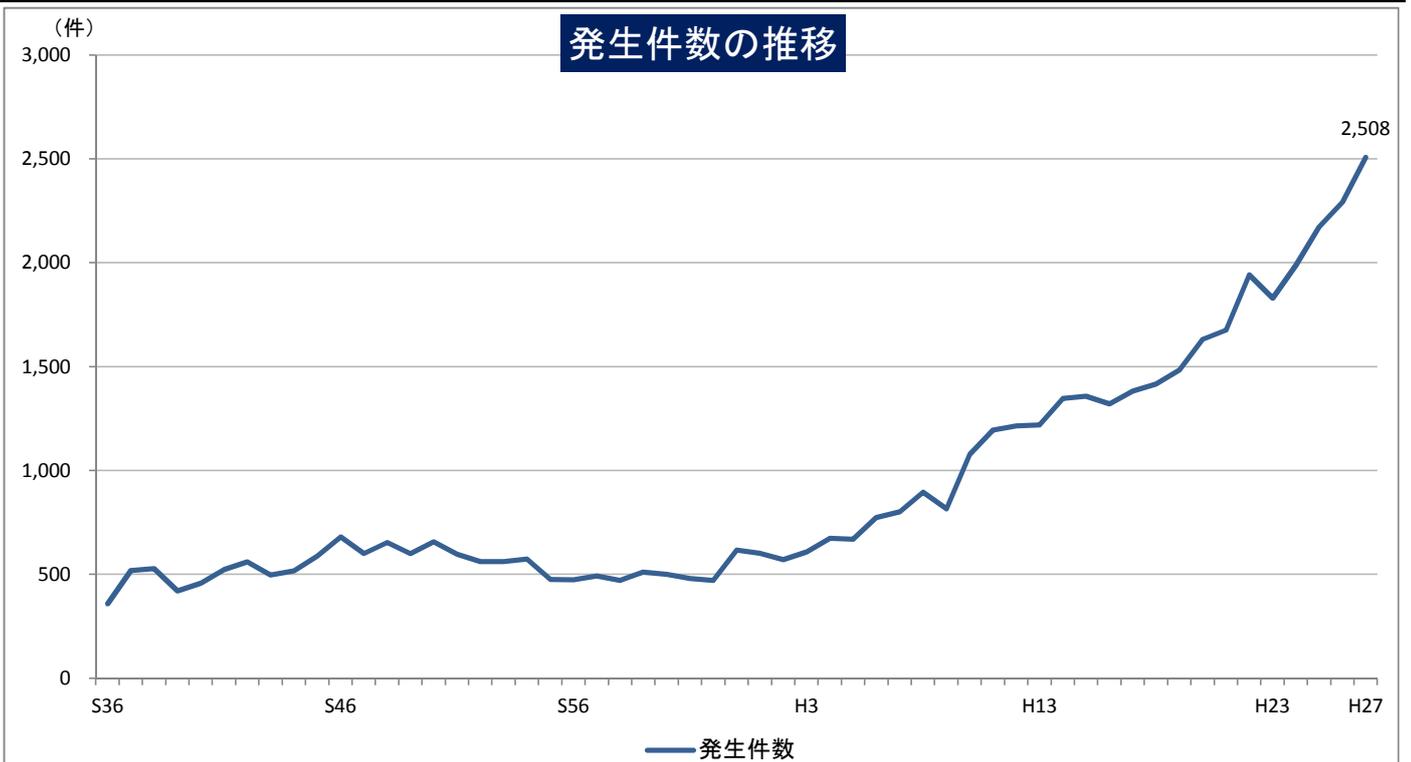
○ 滑落・転落防止

滑りにくい登山靴、ストック等の装備を有効に使用するとともに、気を緩めることなく常に慎重な行動を心掛ける。

注：%は、小数点以下第2位を四捨五入（表1～9においても同じ。そのため、合計の数字と内訳の計が一致しない場合がある。）。

表1 概要

	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	
											構成比
発生件数(件)	1,417	1,484	1,631	1,676	1,942	1,830	1,988	2,172	2,293	2,508	
遭難者数(人)	1,853	1,808	1,933	2,085	2,396	2,204	2,465	2,713	2,794	3,043	100.0%
死者・行方不明者	278	259	281	317	294	275	284	320	311	335	11.0%
死者	251	233	253	269	262	244	249	278	272	298	9.8%
行方不明者	27	26	28	48	32	31	35	42	39	37	1.2%
負傷者	648	666	698	670	832	819	927	1,003	1,041	1,151	37.8%
無事救出者	927	883	954	1,098	1,270	1,110	1,254	1,390	1,442	1,557	51.2%



注:「遭難者数」には、昭和51年から無事救出者を含む。

表2 都道府県別山岳遭難発生状況

(平成27年)

都道府県	発生件数 (件)	遭 難 者 数 (人)				
		死者	行方不明者	負傷者	無事救出	
北海道	175	235	12	3	50	170
青森県	66	76	6	3	19	48
岩手県	47	50	5	1	25	19
宮城県	17	18	1		7	10
秋田県	67	80	9	4	22	45
山形県	79	82	8	2	38	34
福島県	82	95	8	1	41	45
東京都	135	155	5	1	68	81
茨城県	22	32	2		11	19
栃木県	62	70	6		40	24
群馬県	120	142	11	1	83	47
埼玉県	62	89	7		26	56
千葉県	9	20				20
神奈川県	93	111	9		42	60
新潟県	123	147	21	2	75	49
山梨県	107	124	25	1	58	40
長野県	273	300	58	4	132	106
静岡県	114	129	8	3	48	70
富山県	136	156	13	2	84	57
石川県	24	24	4		8	12
福井県	23	55	5		10	40
岐阜県	93	117	13	3	41	60
愛知県	8	10			3	7
三重県	61	80	8	2	21	49
滋賀県	60	79	9	1	29	40
京都府	22	30	4	1	7	18
大阪府	10	14			5	9
兵庫県	92	111	10		39	62
奈良県	48	62	12	1	14	35
和歌山県	7	10	3		1	6
鳥取県	27	34	1		17	16
島根県	7	8	2		1	5
岡山県	6	11	1			10
広島県	19	22	2		8	12
山口県	5	5			1	4
徳島県	14	16	1		4	11
香川県	5	6		1		5
愛媛県	25	26	2		9	15
高知県	4	5	1			4
福岡県	28	34			7	27
佐賀県	9	12			3	9
長崎県	10	11			5	6
熊本県	19	37	2		10	25
大分県	51	68	2		18	48
宮崎県	10	11			4	7
鹿児島県	32	34	2		17	15
沖縄県	0					
合計	2,508	3,043	298	37	1,151	1,557

表3 目的別山岳遭難者

	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	
	人数	人数	人数	人数	人数	構成比
登山	1,612	1,756	1,947	2,151	2,283	75.0%
登山	1,393	1,499	1,645	1,828	2,048	67.3%
ハイキング	101	139	150	188	106	3.5%
スキー登山	53	60	61	58	57	1.9%
沢登り	40	34	48	43	39	1.3%
岩登り	25	24	43	34	33	1.1%
山菜・茸採り	378	403	360	328	391	12.8%
その他	214	306	406	315	369	12.1%
観光	59	94	130	99	105	3.5%
作業	34	50	59	43	40	1.3%
溪流釣り	28	29	32	31	26	0.9%
写真撮影	17	21	20	20	21	0.7%
自然観賞	4	9	3	14	11	0.4%
山岳信仰	13	16	10	10	8	0.3%
狩猟	9	4	6	3	4	0.1%
スキー	50	83	146	87	57	1.9%
その他					85	2.8%
不明	0	0	0	8	12	0.4%
合計	2,204	2,465	2,713	2,794	3,043	100.0%

注：平成27年から、「その他」から「スキー」を分離計上。

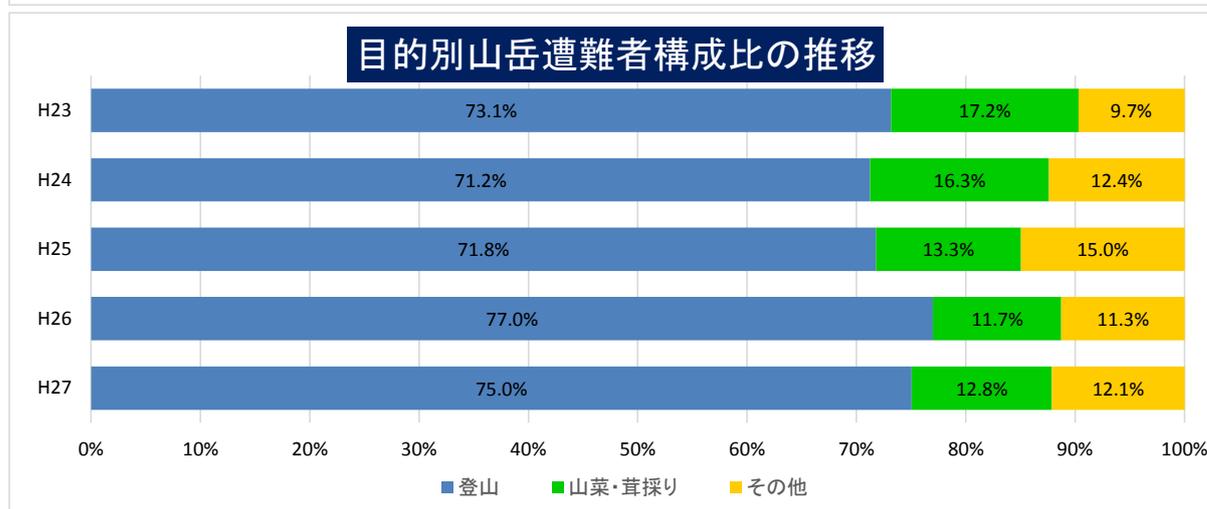
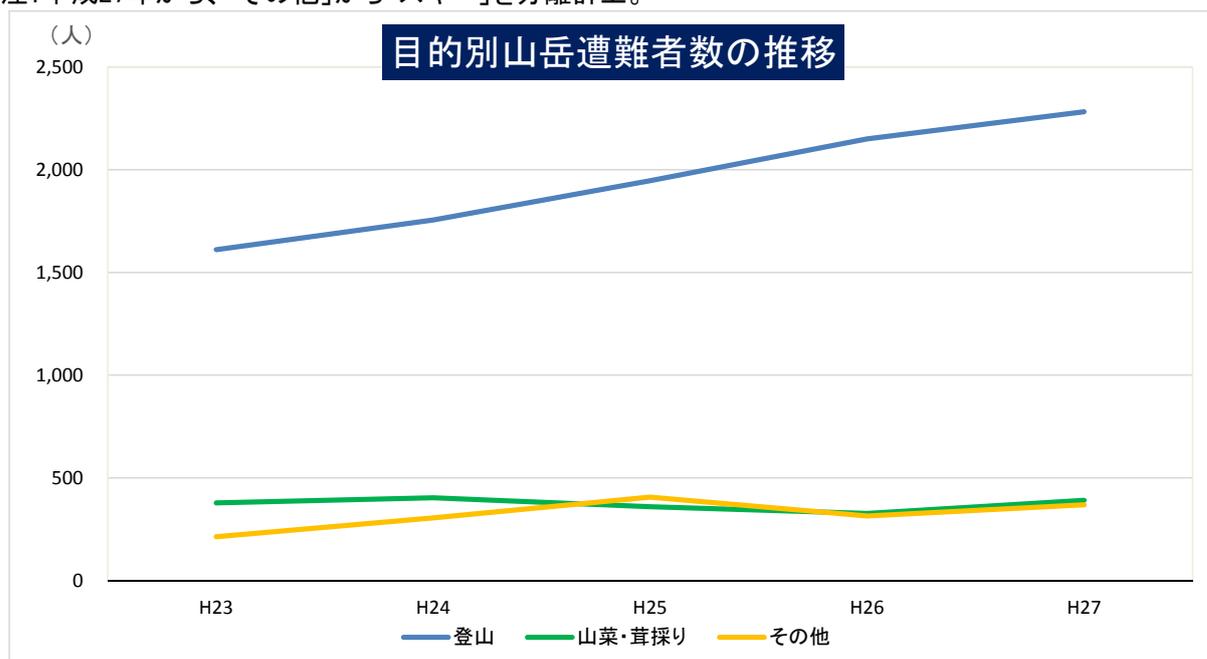


表4 態様別山岳遭難者

	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	
	人数	人数	人数	人数	人数	構成比
道 迷 い	917	1,031	1,134	1,163	1,202	39.5%
滑 落	367	380	460	501	501	16.5%
転 倒	317	346	393	401	467	15.3%
病 気	145	186	221	187	232	7.6%
疲 労	127	132	137	162	172	5.7%
そ の 他	331	390	368	380	469	15.4%
転 落	74	93	73	90	107	3.5%
悪 天 候	31	37	64	42	70	2.3%
野生動物襲撃	43	34	42	48	43	1.4%
落 石	24	12	17	16	25	0.8%
雪 崩	27	8	20	9	17	0.6%
落 雷	2	5	3	0	1	0.0%
鉄 砲 水	7	18	7	2	0	0.0%
有 毒 ガ ス	0	0	1	0	0	0.0%
そ の 他	78	136	83	108	128	4.2%
不 明	45	47	58	65	78	2.6%
合 計	2,204	2,465	2,713	2,794	3,043	100.0%

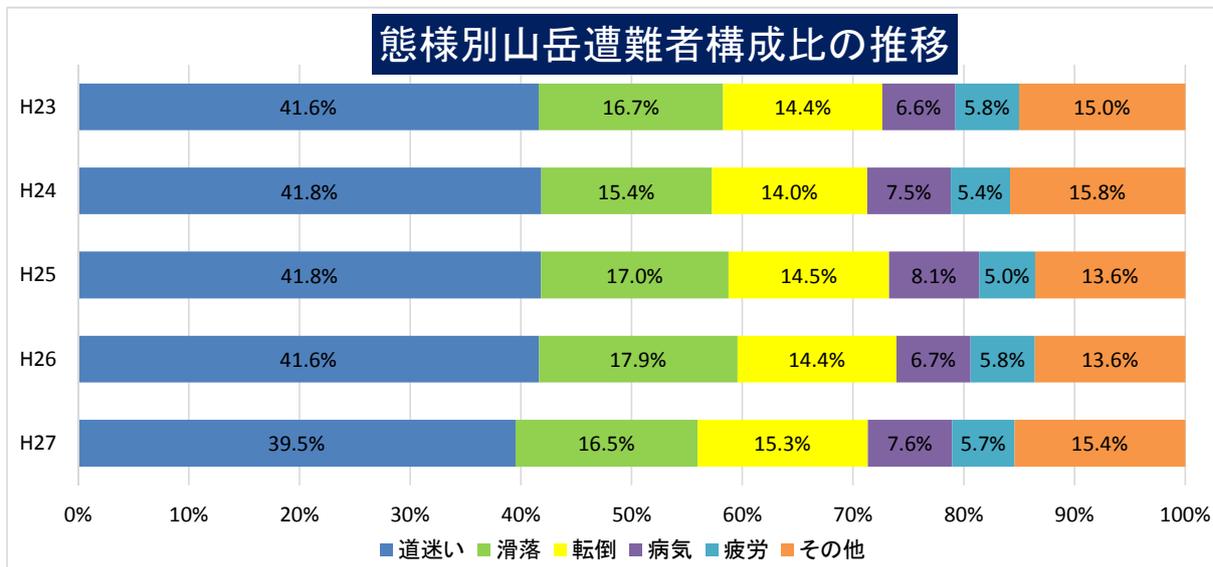
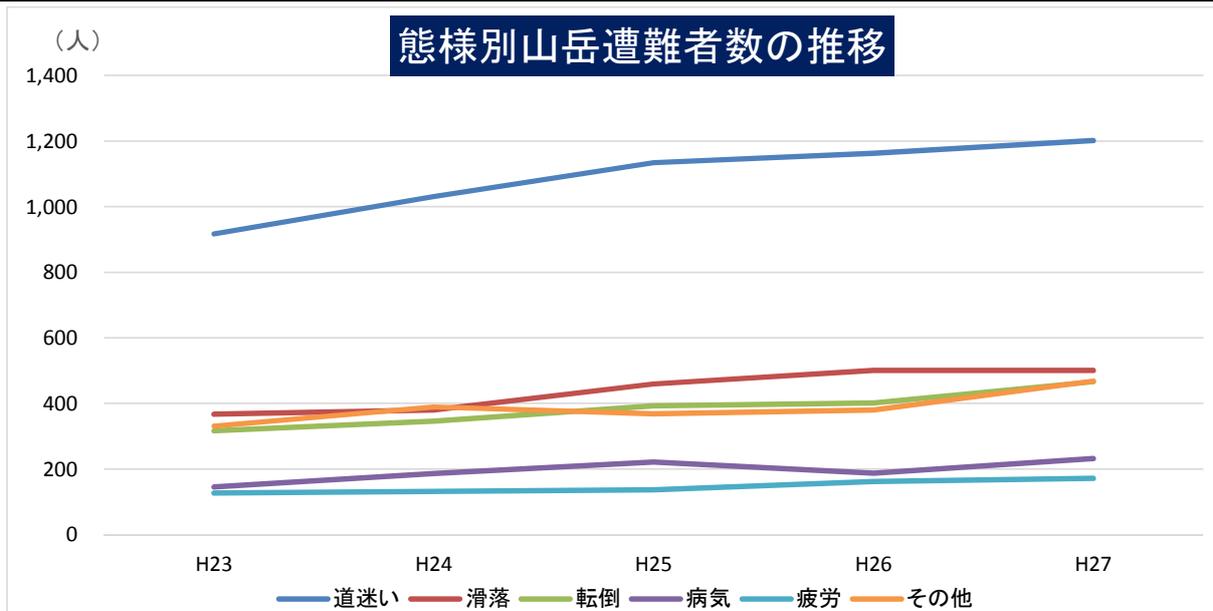


表5 年齢層別山岳遭難者

	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	
	人数	人数	人数	人数	人数	構成比
20歳未満	81	165	230	153	201	6.6%
20～29	181	199	236	222	228	7.5%
30～39	246	263	251	281	277	9.1%
40～49	231	267	332	333	372	12.2%
50～59	347	343	406	402	397	13.0%
60～69	639	681	686	744	791	26.0%
70～79	378	451	466	537	609	20.0%
80～89	90	92	97	114	151	5.0%
90歳以上	10	3	9	6	14	0.5%
不明	1	1	0	2	3	0.1%
合計	2,204	2,465	2,713	2,794	3,043	100.0%

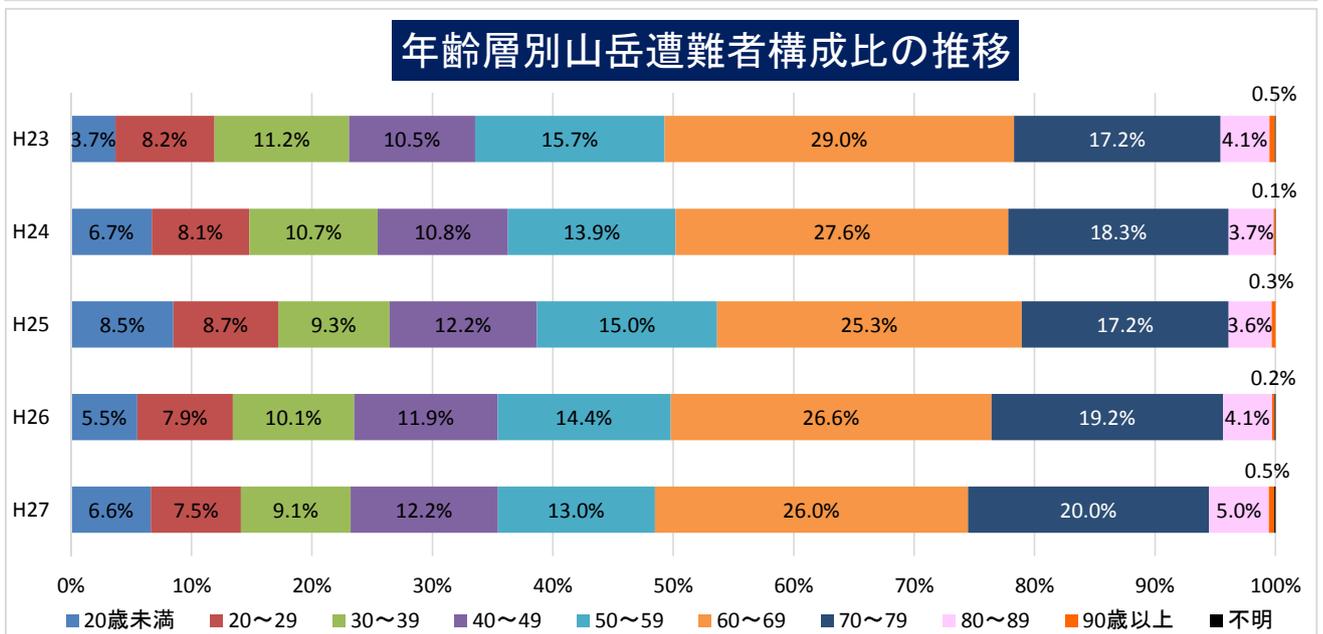
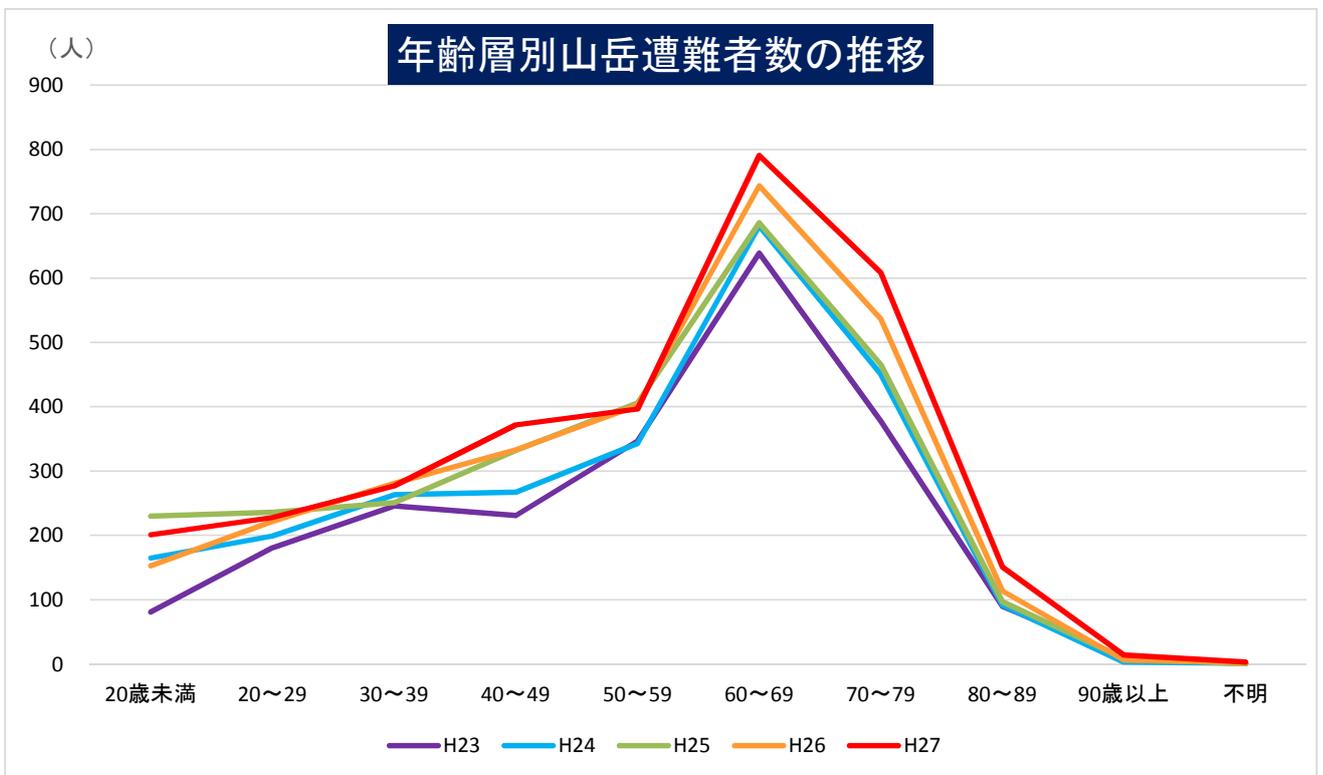


表6 年齢層別山岳遭難者(死者・行方不明者)

	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	
	人数	人数	人数	人数	人数	構成比
20歳未満	2	2	0	3	3	0.9%
20～29	6	7	5	7	10	3.0%
30～39	16	20	22	13	15	4.5%
40～49	24	19	32	36	30	9.0%
50～59	37	41	57	36	43	12.8%
60～69	95	89	98	97	107	31.9%
70～79	71	80	81	85	86	25.7%
80～89	22	25	23	29	35	10.4%
90歳以上	1	0	2	3	6	1.8%
不明	1	1	0	2	0	0.0%
合計	275	284	320	311	335	100.0%

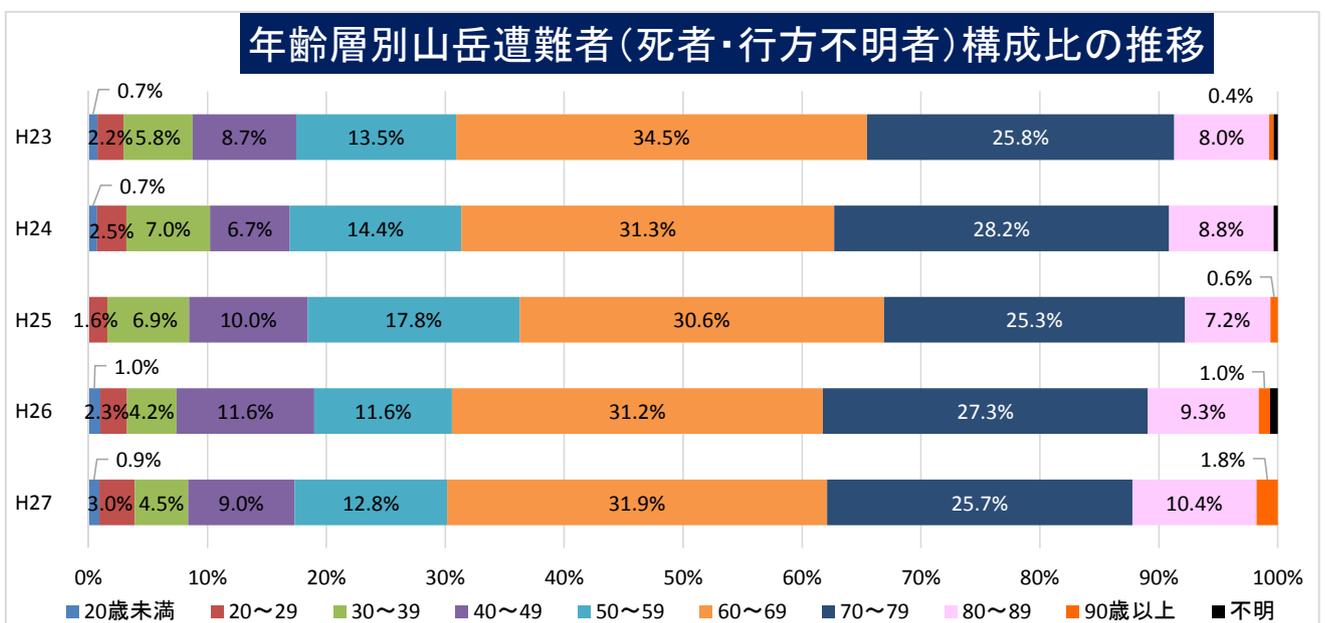
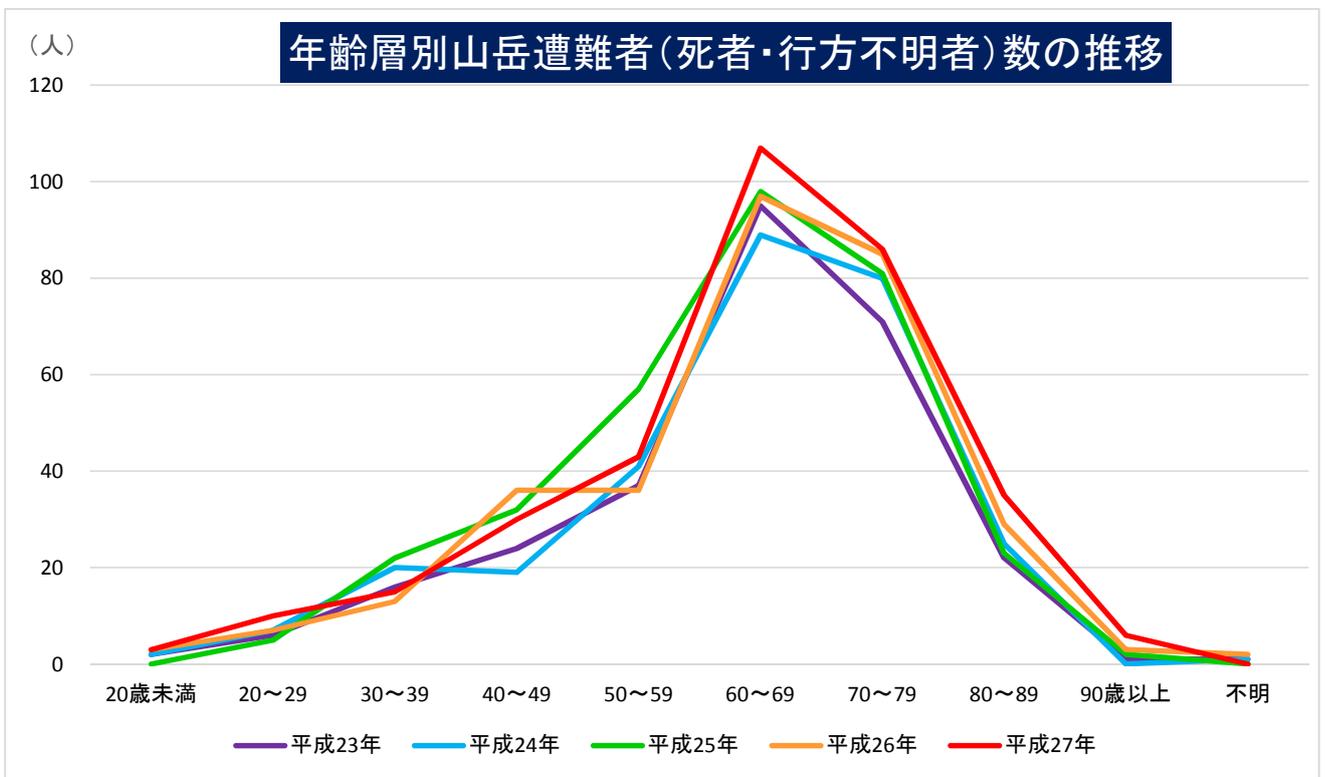
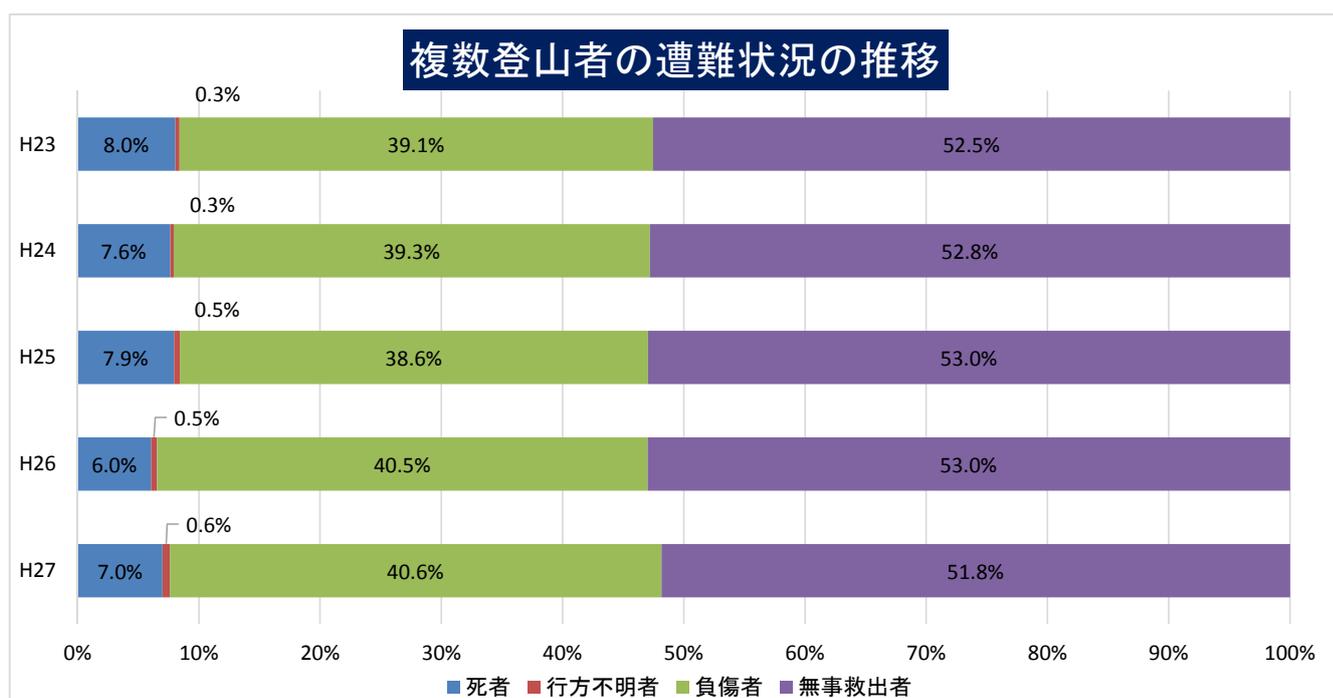
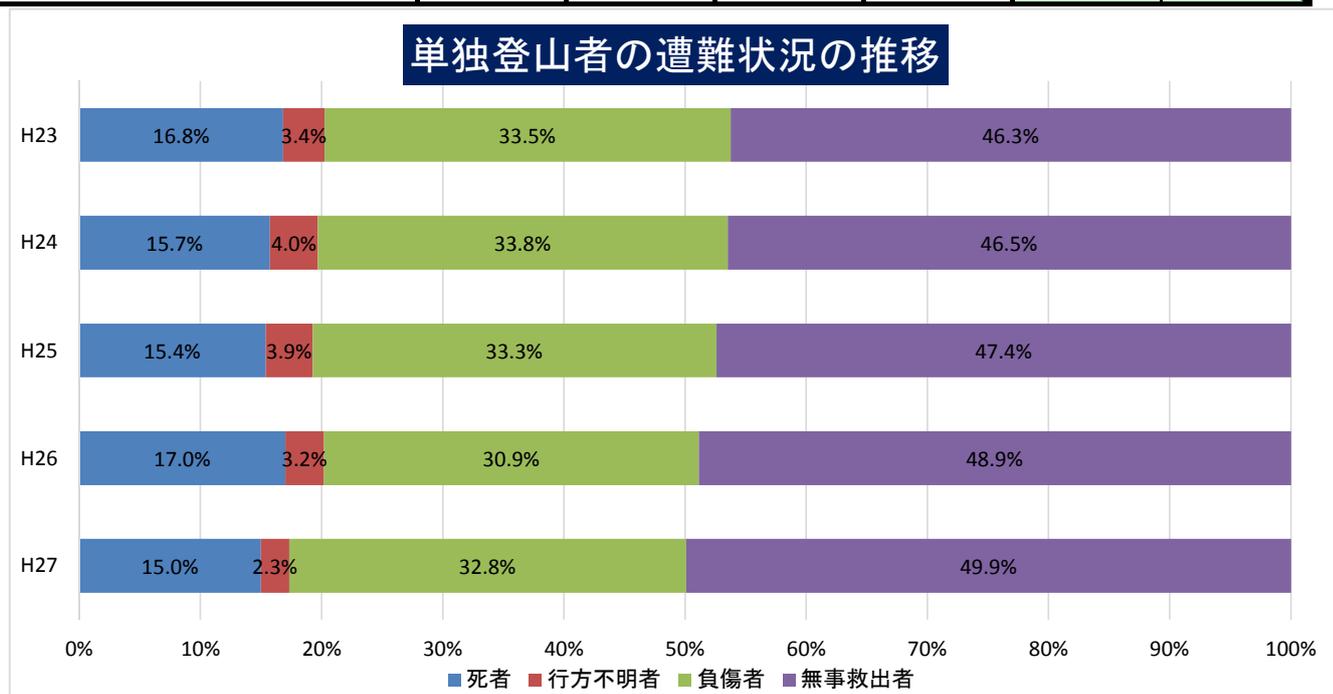


表7 単独登山者の遭難状況

	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	
	人数	人数	人数	人数	人数	構成比
遭難者	761	757	852	941	1,068	100.0%
死者・行方不明者	154	149	164	190	185	17.3%
死者	128	119	131	160	160	15.0%
行方不明者	26	30	33	30	25	2.3%
負傷者	255	256	284	291	350	32.8%
無事救出者	352	352	404	460	533	49.9%
全遭難者に占める単独登山中の遭難者の割合	34.5%	30.7%	31.4%	33.7%	35.1%	



注:この頁における「登山者」とは、目的が「山菜・茸採り」「観光」等の者も含む。

表8 通信手段の使用状況

	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	
	件数	件数	件数	件数	件数	構成比
発生件数	1,830	1,988	2,172	2,293	2,508	
使用あり	1,181	1,380	1,548	1,728	1,922	76.6%
携帯電話	1,163	1,361	1,527	1,707	1,920	76.6%
無線	18	19	21	21	2	0.1%
使用なし	649	608	624	565	586	23.4%

注1::使用なしは、通話エリア圏外、バッテリー切れ等を含む。

注2:携帯電話・無線機併用は、無線機に計上。

